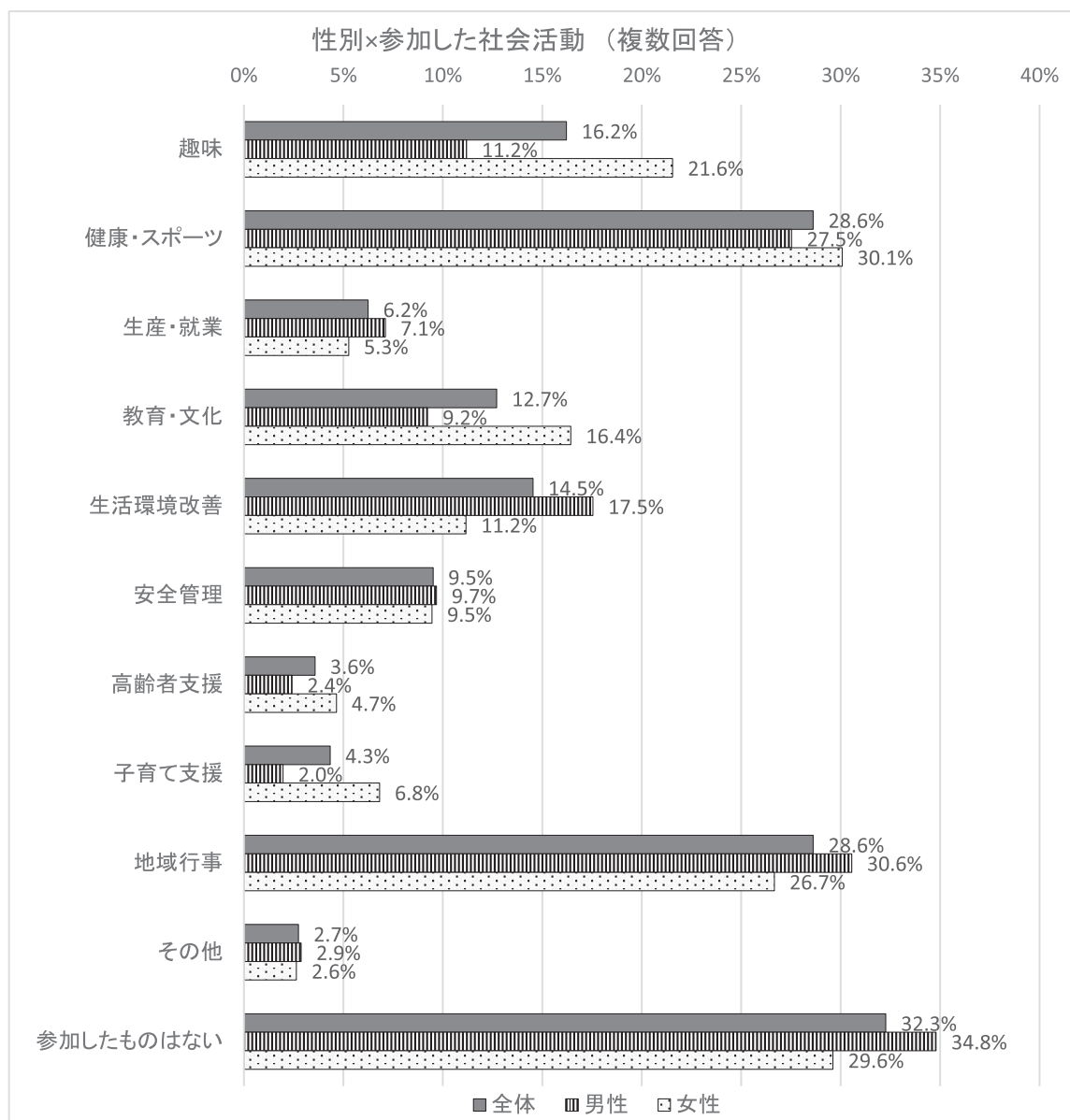


4 社会活動（趣味等）への参加

趣味やスポーツ・教養活動、地域行事などのグループや団体で行われている活動への参加実績や、参加してよかったこと、参加しない理由等について、調査を行った。

調査結果のポイント

- 約3割の人が「健康・スポーツ」、「地域行事」に参加
- 年齢が上がるほど、社会活動への参加実績が高い
- 男性は地域貢献ができたこと 52.8%、女性は友人を得たこと 57.7%が、最もよかったこととなっている
- 参加のきっかけは男女とも友人のすすめ（男性 22.2%、女性 30.9%）が一番多く、男性は自治会の誘い（21.7%）も多い

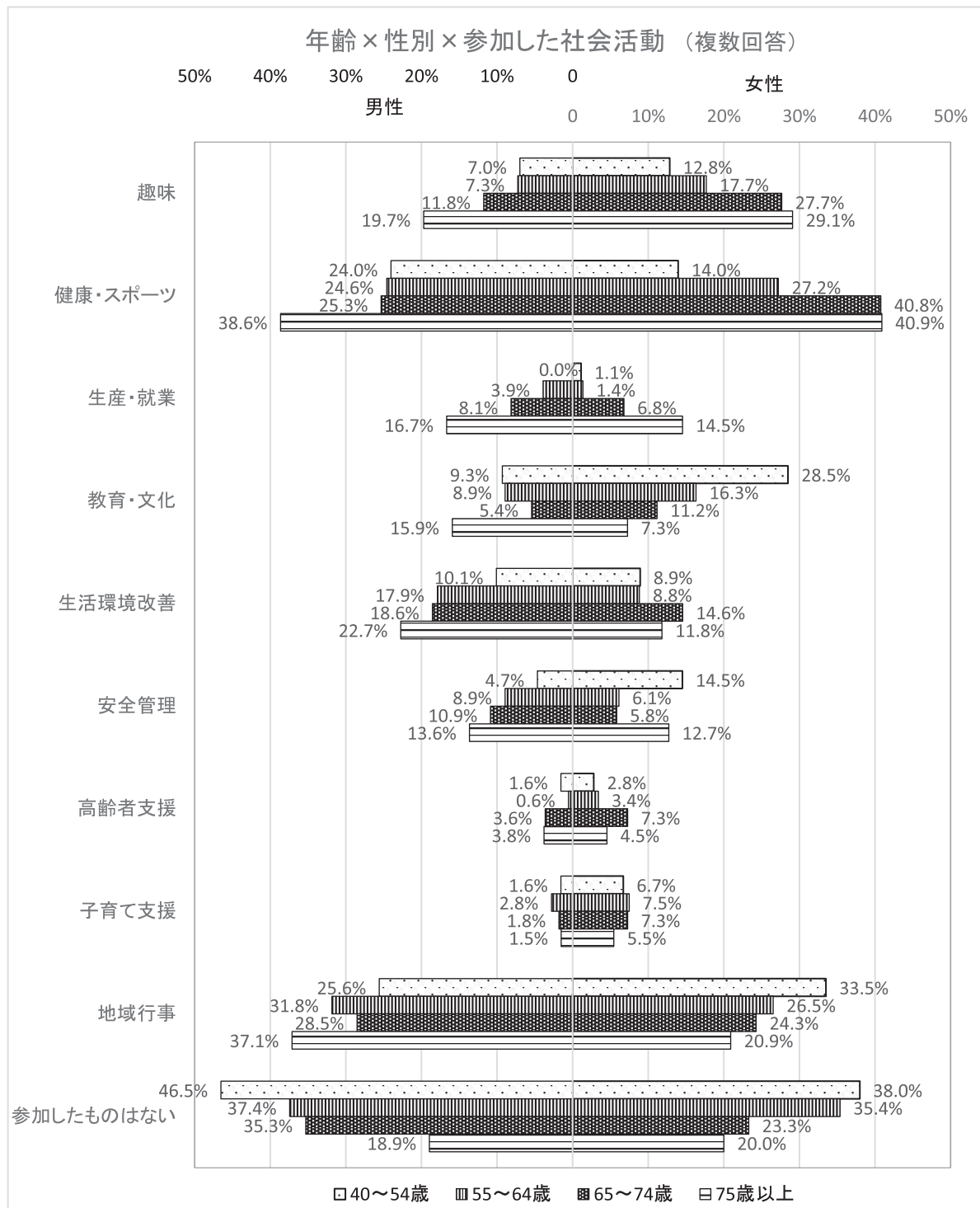


- ・全体で見ると、最も参加割合が高い活動は、「健康・スポーツ」28.6%、「地域行事」28.6%、次いで「趣味」16.2%となっている。
- ・男性の方が参加した割合が高い主な項目は、「生産・就業」7.1%、「生活環境改善」17.5%、「地域行事」30.6%となっている。

- ・女性の方が高い主な項目は、「趣味」21.6%、「健康・スポーツ」30.1%、「教育・文化」16.4%、「子育て支援」6.8%となっている。

(その他の回答)

参加した社会活動（複数回答）	
スローランニング、筋トレ	食育、フードバンクを手伝いたい
災害ボランティア	総合病院での案内ボランティア
町内の川掃除と草むしり	高齢者、知的障害者施設へのボランティア活動
食推、学校の放課後教室	毎日運動を兼ねてゴミ、カン拾いに努めている



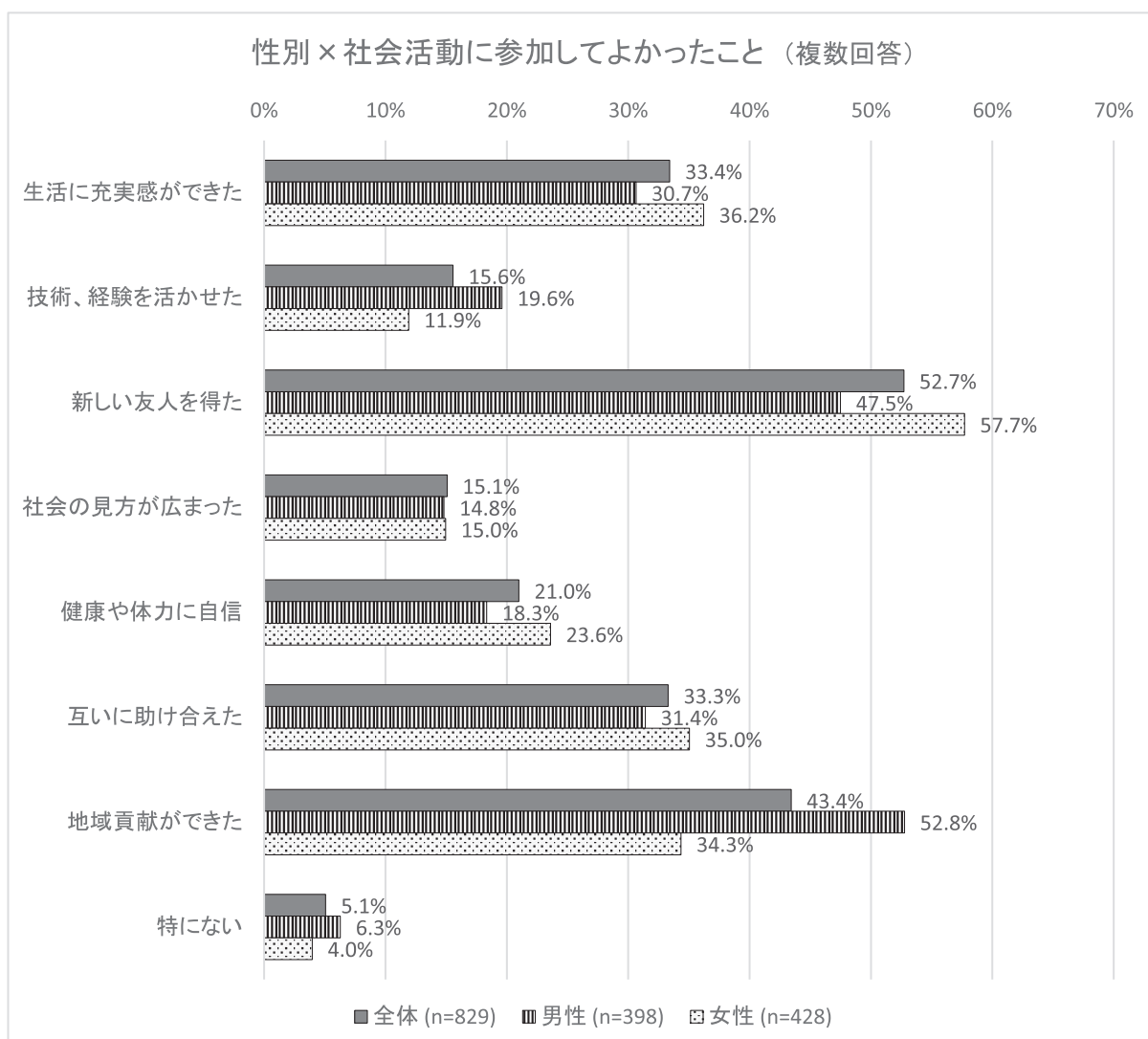
- ・「趣味」については、75歳以上女性が29.1%と最も高くなっており、男女とも年齢が上がるにしたがって増加している。
- ・「健康・スポーツ」については、75歳以上女性が40.9%、65～74歳女性が40.8%と高くなっており、女性は年齢が下がるにしたがって減少し、40～54歳女性で14.0%と最も低くなっている。男性は、75歳以上が38.6%と最も高い一方、74歳以下は、25%前後とあまり差はみられない。
- ・「教育・文化」については、40～54歳女性が28.5%と最も高く、女性は年齢が上がるにしたがって減少している一方、男性は75歳以上が15.9%と最も高くなっている。
- ・「生活環境改善」については、75歳以上男性が22.7%と最も高く、男性は年齢が下がるにしたがって減少している。
- ・「地域行事」については、75歳以上男性が37.1%と最も高く、次いで40～54歳女性の33.5%となっている。女性は、年齢が上がるにしたがって減少している。
- ・「参加したものはない」については、40～54歳男性の46.5%が最も高く、男女とも年齢が上がるにしたがって減少し、75歳以上男性が最も低い18.9%となっている。

<性別×年齢×参加した社会活動の上位3つ（参加したものはないを除く）>

男性	40～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	<u>地域行事</u> (25.6%)	<u>地域行事</u> (31.8%)	<u>地域行事</u> (28.5%)	健康・スポーツ (38.6%)
2位	健康・スポーツ (24.0%)	健康・スポーツ (24.6%)	健康・スポーツ (25.3%)	<u>地域行事</u> (37.1%)
3位	生活環境改善 (10.1%)	生活環境改善 (17.9%)	生活環境改善 (18.6%)	生活環境改善 (22.7%)

女性	40～54歳	55～64歳	65～74歳	75歳以上
1位	<u>地域行事</u> (33.5%)	健康・スポーツ (27.2%)	健康・スポーツ (40.8%)	健康・スポーツ (40.9%)
2位	教育・文化 (28.5%)	<u>地域行事</u> (26.5%)	趣味 (27.7%)	趣味 (29.1%)
3位	安全管理 (14.5%)	趣味 (17.7%)	<u>地域行事</u> (24.3%)	<u>地域行事</u> (20.9%)

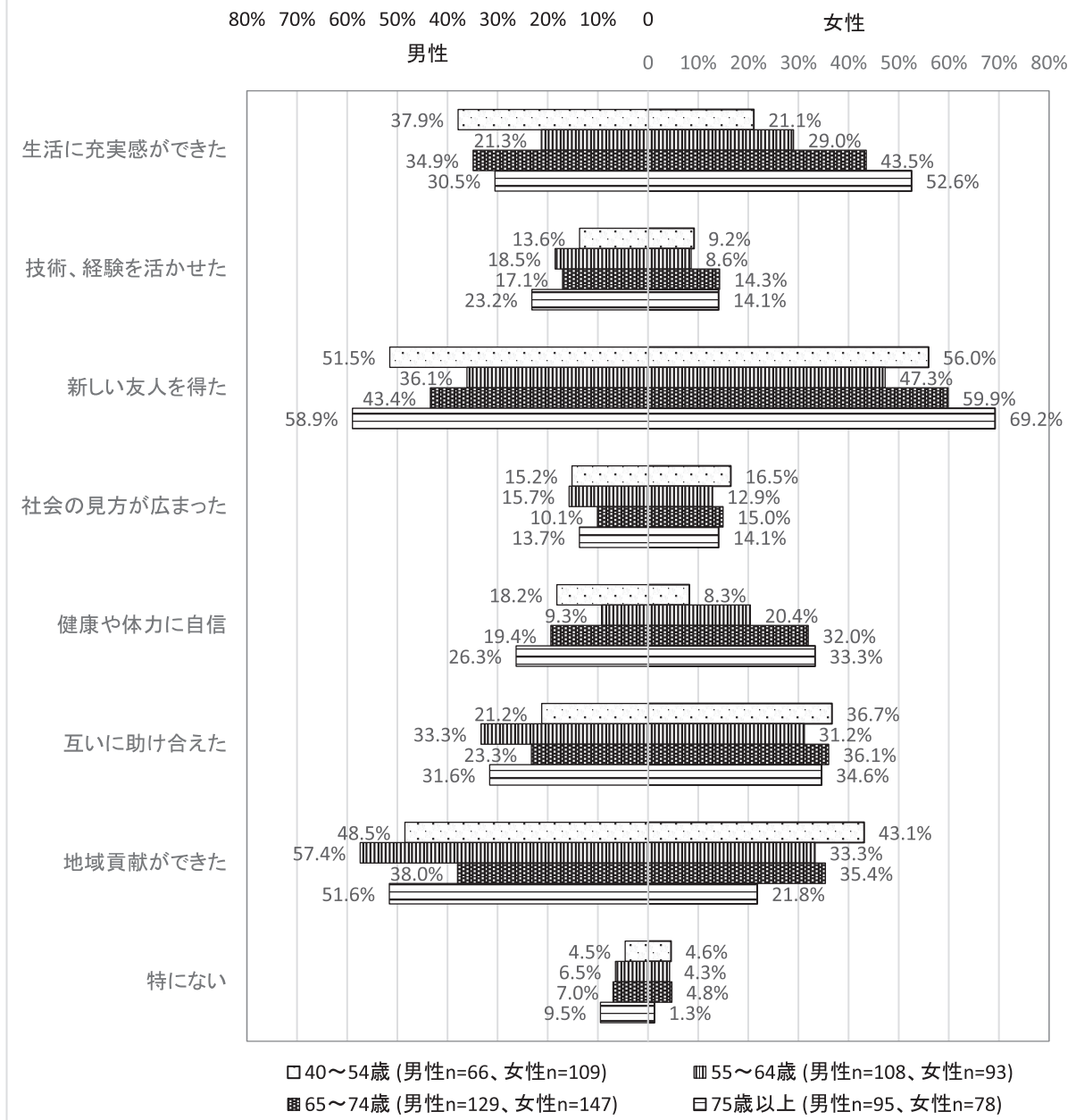
- ・40～54歳では、男女とも「地域行事」への参加が1位、55～64歳と65～74歳では、男性は「地域行事」が、女性は「健康・スポーツ」が1位、75歳以上では男女とも「健康・スポーツ」が1位となっている。



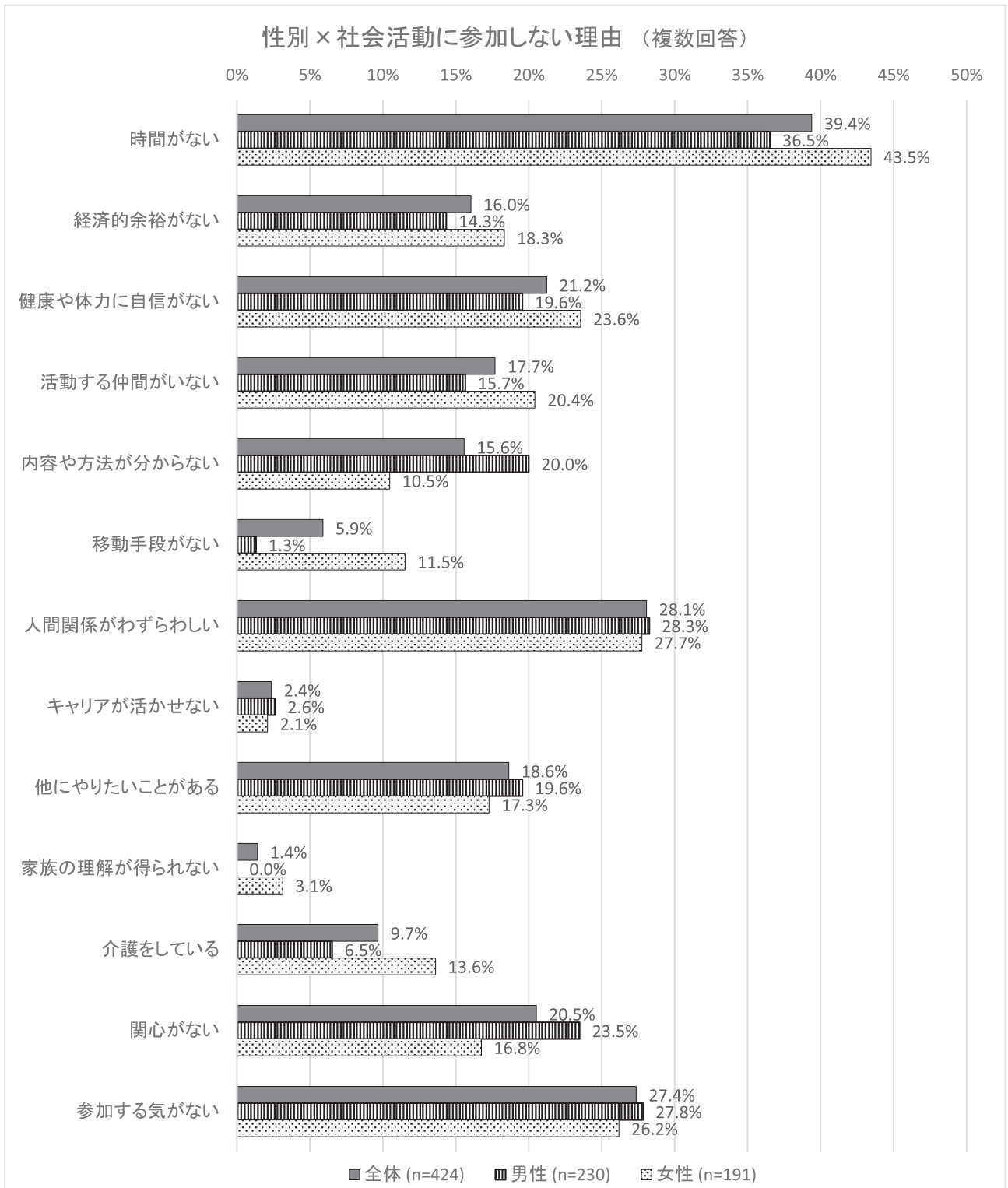
- ・全体で見ると、「新しい友人を得た」が 52.7%で最も高く、次いで「地域貢献ができた」43.4%となっており、「生活に充実感ができた」と「互いに助け合えた」は3人に1人となっている。
 - ・男性の方が高い項目は、「技術、経験を活かした」19.6%、「地域貢献ができた」52.8%であり、男性の1位は「地域貢献ができた」、2位は「新しい友人を得た」3位は「互いに助け合えた」となっている。
 - ・女性の方が高い主な項目は、「生活に充実感ができた」36.2%、「新しい友人を得た」57.7%、「健康や体力に自信」23.6%であり、女性の1位は「新しい友人を得た」、2位は「生活に充実感ができた」、3位は「互いに助け合えた」となっている。
- (その他の回答)

社会活動に参加してよかったこと（複数回答）	
近所の方とのつながりができる	子供たちと関わることで元気をもらえた
今の体力を維持したい	ストレス発散になる
地域、地元を知ることができた	自分への自信につながる、今後の仕事活動へ活かすことができる
認知症予防	

年齢×性別×社会活動に参加してよかったこと（複数回答）

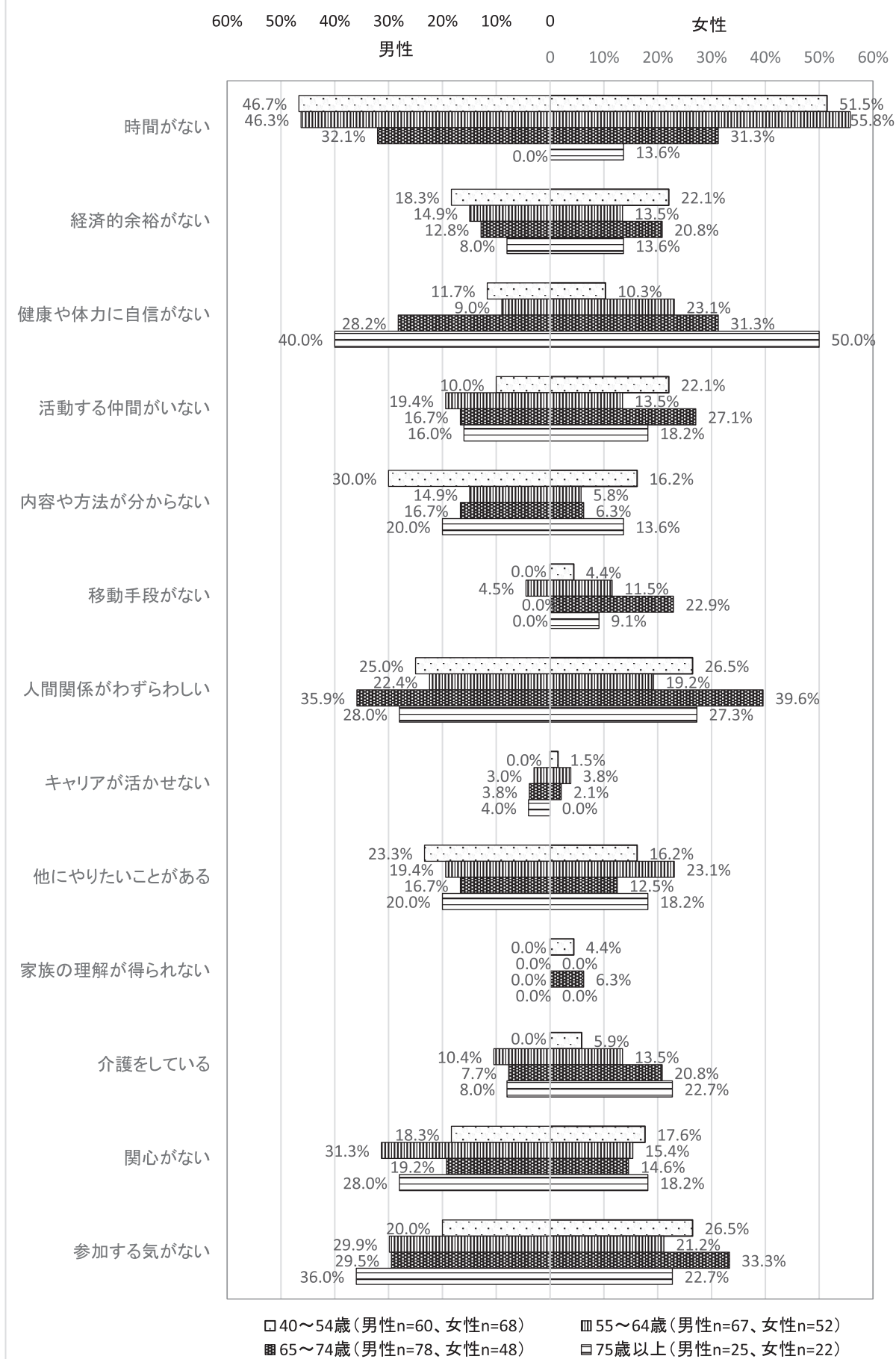


- ・「生活に充実感ができた」については、75歳以上女性が52.6%と最も高く、40~54歳女性が21.1%と最も低くなっており、女性は年齢が上がるにしたがって増加している。男性は55~64歳が21.3%と最も低くなっている。
- ・「新しい友人を得た」については、75歳以上女性が69.2%と最も高く、55~64歳男性が最も低い36.1%となっており、男女とも55~64歳が底であり、75歳以上で最も高くなっている。
- ・「健康や体力に自信」は、75歳以上女性が33.3%と最も高く、40~54歳女性が8.3%と最も低くなっており、女性は年齢が上がるにしたがって増加している。また、男性は55~64歳が9.3%と最も低い一方、75歳以上が26.3%と最も高い。
- ・「地域貢献ができた」は、55~64歳男性が57.4%と最も高く、75歳以上女性が21.8%と最も低くなっており、男女で比較すると、75歳以上の人の差が最も大きく、男性51.6%、女性21.8%と29.8ポイントの差となっている。



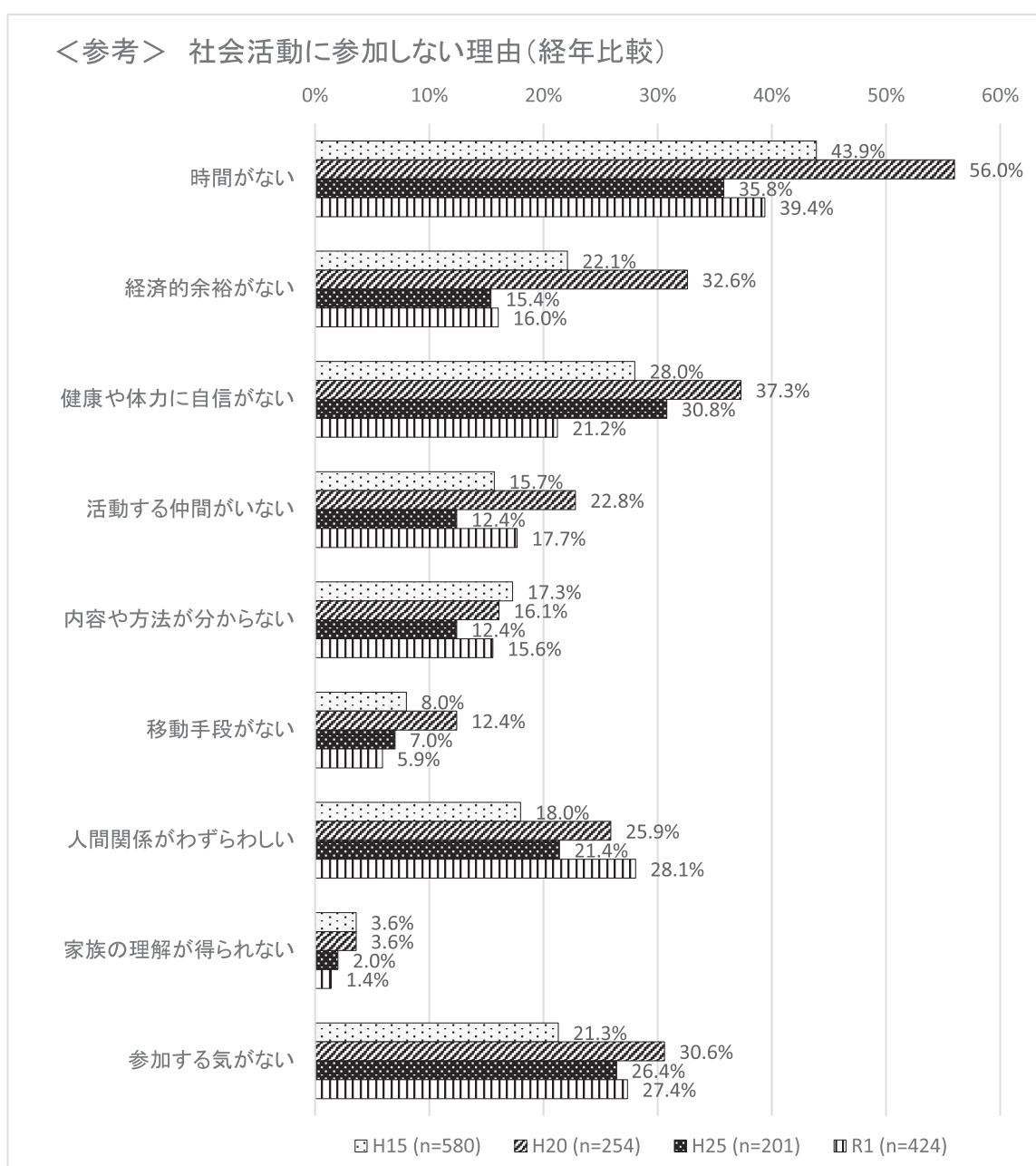
- ・ 全体で見ると、「時間がない」が 39.4%で最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」28.1%、「参加する気がない」が 27.4%となっている。
- ・ 男女別にみると、「内容や方法が分からない」、「関心がない」等は、男性の方が割合が高く、「時間がない」、「経済的余裕がない」、「活動する仲間がいない」、「移動手段がない」、「介護をしている」等は、女性の方が高くなっている。

年齢 × 性別 × 社会活動に参加しない理由（複数回答）

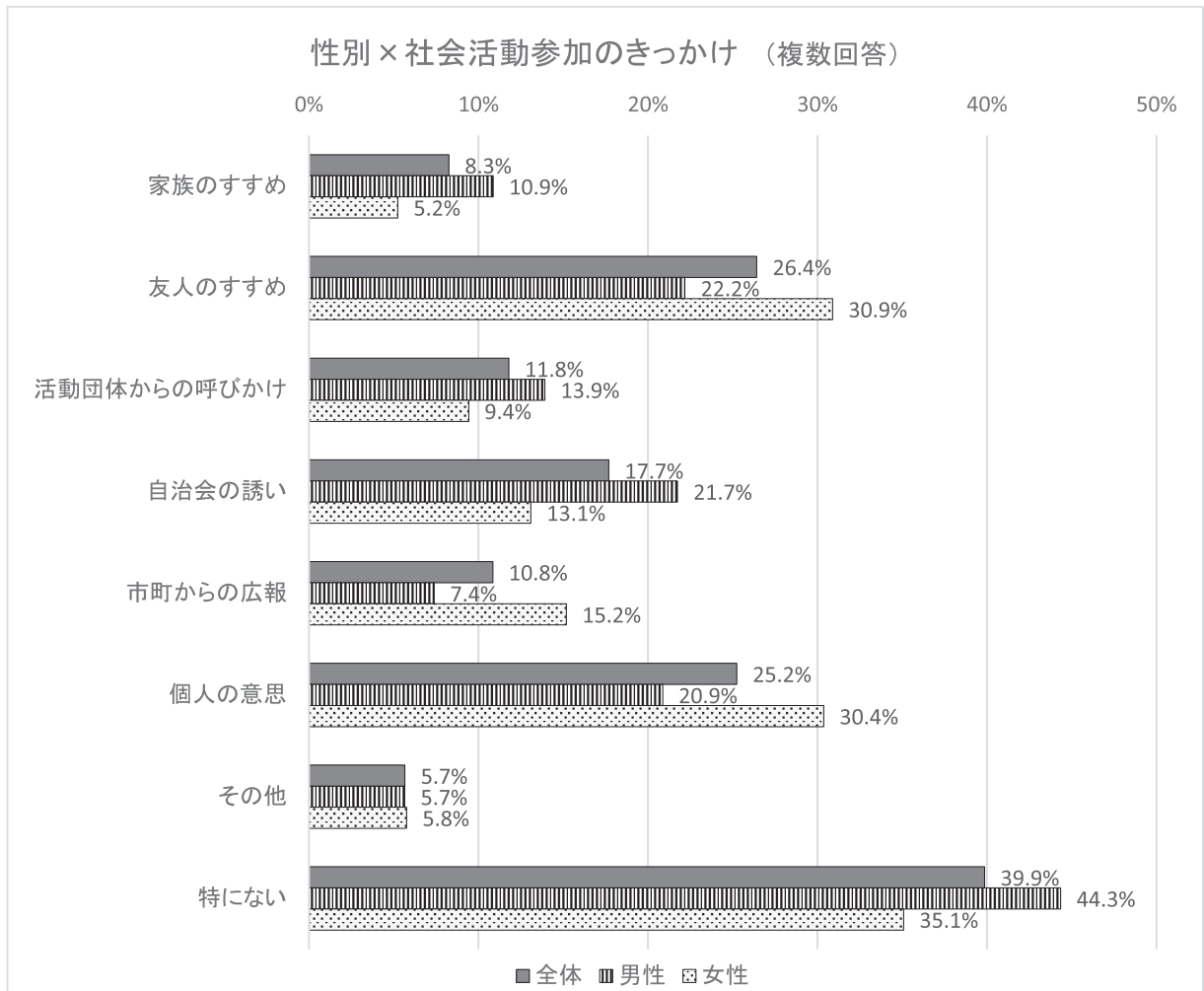


- ・「時間がない」については、40～54歳、55～64歳の男女とも約半数が理由に挙げていることに対し、65～74歳男女は約3割、75歳以上女性は13.6%、75歳以上男性は0となっている。
- ・「経済的余裕がない」は、40～54歳女性が22.1%と最も高く、次いで65～74歳女性の20.8%となっている。
- ・「健康や体力に自信がない」は年齢が上がるにしたがって増加傾向にあり、75歳以上男性で40.0%、75歳以上女性で50.0%となっている。
- ・「内容や方法が分からない」は、40～54歳男性30.0%が最も高くなっている。
- ・「人間関係がわずらわしい」は65～74歳女性が39.6%と最も高い一方、55～64歳女性は19.2%と最も低くなっている。

<参考：経年比較>



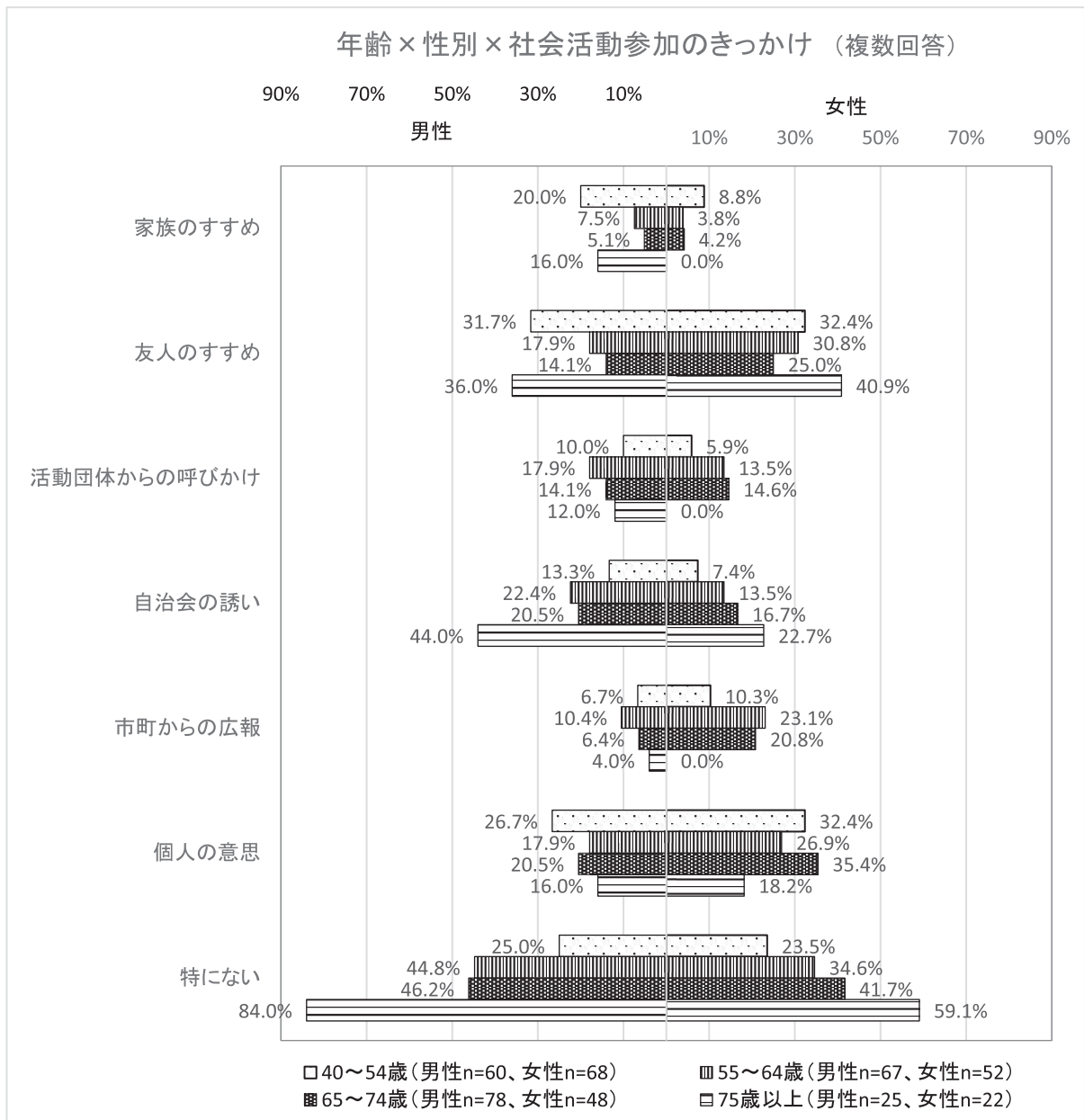
※前回調査項目になかったものは、記載していない。



- ・全体で見ると、「友人のすすめ」が26.4%と最も高く、次いで「個人の意思（問題意識や解決したい課題を持つこと、気付くこと）」が25.2%となっている。
- ・男女別で見ると、男性の方が高い項目は、「家族のすすめ」、「活動団体からの呼びかけ」、「自治会の誘い」となっており、男性の第1位「友人のすすめ」22.2%、第2位「自治会の誘い」21.7%、第3位「個人の意思」20.9%となっている。
- ・女性の方が高い項目は、「友人のすすめ」、「市町からの広報」、「個人の意思」などとなり、女性の第1位「友人のすすめ」30.9%、第2位「個人の意思」30.4%、第3位「市町からの広報」15.2%となっている。

（その他の回答）

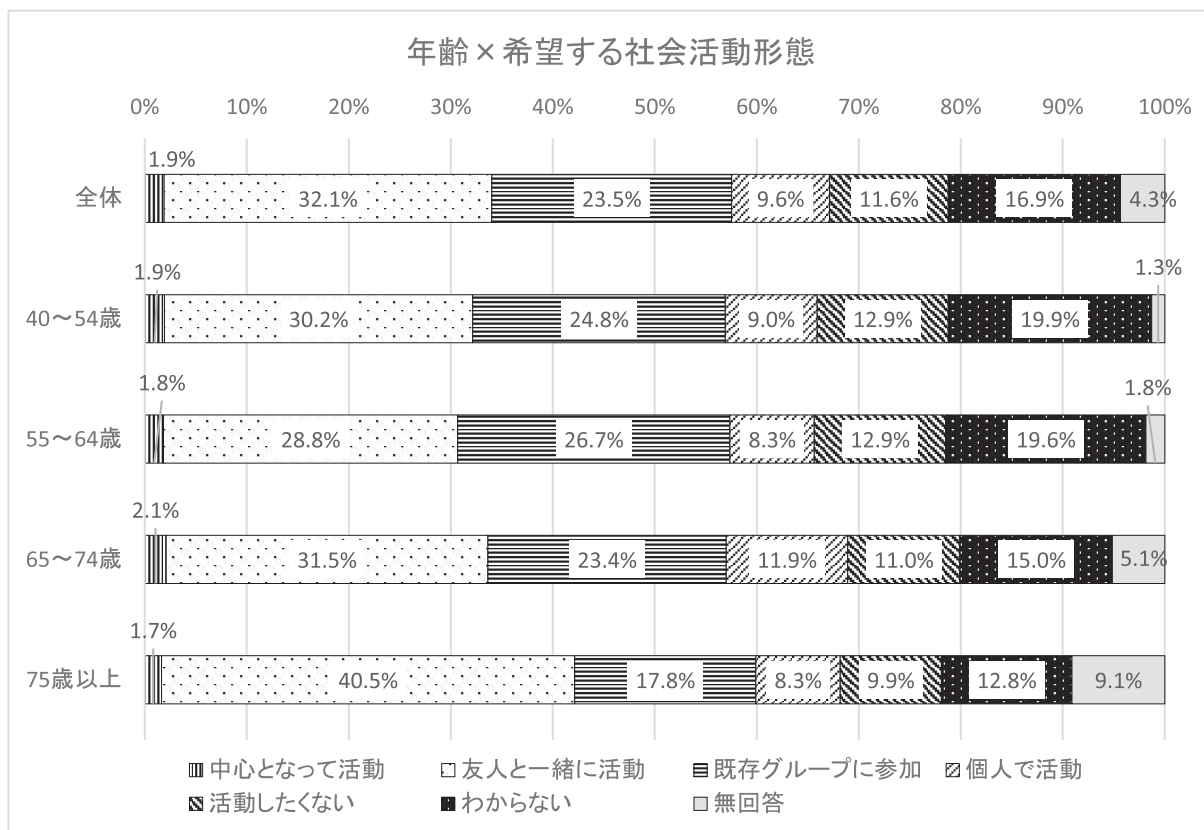
社会活動に参加するきっかけ（複数回答）	
場所が近ければ行ける	退職後に考えたい
精神的、時間的余裕ができれば	退職後はいろいろ参加するつもり
生活に余裕ができたとき	



- 「家族のすすめ」は 40～54 歳男性の 20.0%が最も高く、次いで 75 歳以上男性の 16.0%となっており、男女別にみると男性より女性の方が低く、75 歳以上女性は 0 となっている。
- 「友人のすすめ」は、75 歳以上女性の 40.9%、次いで 75 歳以上男性の 36.0%となっており、最も低いのは 65～74 歳男性の 14.1%であり、男女とも 65～74 歳が他の年齢と比べると低くなっている。
- 「自治会の誘い」は、75 歳以上男性の 44.0%がきわだって高くなっている。
- 「特にない」は、75 歳以上男性の 84.0%が最も高く、次いで 75 歳以上女性の 59.1%となっている一方、40～54 歳女性の 23.5%が最も低くなっている。

【希望する活動形態】

趣味やスポーツ・教養サークル活動、地域行事などのグループや団体で行われている活動をどのような形で行いたいかについても調査を行った。



- ・「中心となって活動したい」は、年齢によってあまり差はない。
- ・「友人と一緒に活動したい」は、75歳以上の40.5%が最も高い一方、その他の年齢では約3割となっており、55～64歳の28.8%が最も低くなっている。
- ・「既存のグループに参加したい」は、74歳以下は23.4%から26.7%とおおよそ4人に1人の割合であるのに対し、75歳以上は17.8%となっている。
- ・「個人で活動したい」は、すべての年齢で約1割となっている。
- ・「活動したくない」は、40～54歳と55～64歳の12.9%が最も高くなっており、75歳以上の9.9%が最も低くなっている。